

私のすすめるこの1冊

高柳 真人 (教職キャリア高度化センター 教授)

『少年期の心』

山中康裕 (著)

精神科医である中井久夫とのサイコセラピー体験を軸として綴られた、最相葉月の『セラピスト』という作品がある。その中で、河合隼雄、神田橋條治、河合俊雄ら錚々たる臨床家とともに、バーン・セラピスト (生まれながらの治療者) として取り上げられているのが、本書の著者、山中康裕である。

筆者が高校時代、倫理の授業で学んだフロイトに触発され、精神医学や心理学の世界に興味を持ち、宮城音弥の『夢第二版』や島崎敏樹の『生きるとは何か』(共に岩波新書)を読んだり、北杜夫、なだいなだの著作に親しみ、河合隼雄のテレビ講義を見たりしていた。しかし、その後、進んだ大学では別の分野を専攻し、そうした世界から遠ざかっていた。その後、高校の教師となり十数年になるうかという時、改めて、カウンセリング専攻の院生として社会人大学院に入学し、カウンセリングを学び始めた。現在、東京で相談室を構えていらっしゃるそこでの先輩が、箱庭を使って修論を書くというので、「モルモット」(被験者のことだが、先輩は箱庭に参加する我々をそう呼んでいた)として箱庭を体験することになった。ちょうどその最中に、心理臨床学会の集会があり、ワクワクして参加したところ、河合隼雄、小川捷之、北山修らとともに山中康裕と出会うことが出来た。出会えて嬉しかったせいか、それら臨床家の個性が強烈だったからか、翌週の箱庭では、一艘の舟の先頭に野原しんのすけ (当時、自分の分身として置いていた)、続いて、河童 (小川捷之からの連想)、鷺 (北山修からの連想)、鼻 (山中康裕からの連想) が乗り込み、舟の脇には亀 (河合隼雄からの連想) が付き添いながら、左手

から右手に流れる川を下って森を離れ、右手に広がる街へと向かう風景を作ったのであった。箱庭に置く人形として筆者が鼻を連想したように、山中康裕は、当時、年齢的には、まだ50歳代半ばだった筈だが、すでに老賢人の趣を感じさせる方でもあった。

本書は、出会ったとたん、「バーン」と玩具のピストルで撃ってきた、何にでも噛みつき、実際に犬まで噛んだ「犬噛み道太」(8歳男児)、家の外で3年半、言葉を発しなかった「口無し太郎」(7歳男児)、頭痛で登校できない「赤頭巾庭子」(8歳女児)、毎夜寝付かれず、「地獄だ、地獄だ」と泣き叫んで連れてこられた「地獄の鬼太郎」(7歳男児)、一泊旅行から帰った実の母に「あんた誰?」「お母さん、どこへ行ったのかしら、早く帰って来てくれるといいのに」と言った「母恋い霧子」(11歳女児)、便秘、腹痛、頭痛に悩む「詰まり過ぎ誠」(14歳男児)、学校に行けない「文交い繭子」(15歳女児)らと、面接、遊戯、箱庭、写真、手紙など、内的なイメージを媒介として関わる山中の事例報告ともいえる内容からなっている。今では、こういう子どももいるだろうと思えるようにはなったが、初めて読んだ時には、こんな子どもがいるのかと驚きながら読んでいた。しかし、その後、読み返すうち、山中の在り方、子どもとの関わり方に惹かれていった。それは、山中だからできる、山中の個性に従ったユニークな関わりであるともいえるが、同時に、そこには、誰にとっても大切な子どもとの関わり方についてのヒントがあり、考えさせられるものとなっていると思う。

※こちらの2冊 (岩波新書) もおすすめです
(配置場所: 新書 書庫西館4階)

『夢』宮城音弥 著 岩波書店, 1972年

『生きるとは何か』島崎敏樹 岩波書店, 1974年

日曜開館を試行しています

試験期間前の日曜日（7月22日、7月29日、8月5日）を9時から17時まで開館しています。試験勉強などにぜひご利用ください！

<お願い>

8月23日（木）に事務室の引っ越しをします。作業による騒音や荷物の運搬などで、ご迷惑をおかけするかと思いますが、ご理解とご協力をお願いします。

雑誌の製本作業について

8月から10月中旬（予定）まで、南館1階・西館3階にある雑誌のうち、2016年～2017年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。製本後はすべて西館3階（書庫）に並べますので、そちらをご利用ください。

※作業中は製本対象リストを図書館ホームページに掲載する予定です。

2018 オープンキャンパス

8月17日（金）10:00～16:00

通常通り開館していますが、混み合うことが予想されます。申し訳ありませんが、ご理解いただけますようお願いいたします。

学修相談カウンター（8/3迄）

8・9月はお休みですが、10月に再開します！

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？ **どんどん利用してください！**



夏季休業に伴う長期貸出について

学部生：7月26日（木）～9月18日（火）

院生・教職員：7月12日（木）～9月4日（火）

【返却期限日】10月3日（水）

※卒業・修了予定者は9月10日（月）まで

リクエストと投票で 話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！

**8月はお休みです。
次回は9月に実施します。
リクエストは随時受付中！**



今年度も
たくさん本を
読んでね！

平成29年度 利用統計

サービス統計		H29 年度	H28 年度
入館者数		83,568 人	80,586 人
貸出冊数		25,654 冊	25,350 冊
うち学生への貸出		22,348 冊	21,078 冊
図書貸借	依頼	74 件	89 件
	受付	168 件	164 件
文献複写	依頼	409 件	653 件
	受付	680 件	858 件
複写枚数(学外・学内)		18,009 枚	21,443 枚
レファレンス(参考調査)		1,500 件	1,762 件

蔵書冊数	H29 年度	H28 年度
図書	441,150 冊	429,562 冊
うち開架図書	304,286 冊	293,263 冊
雑誌	6,629 種	6,548 種
新聞	15 種	14 種



京都教育大学
それはかなう夢講座

第12回を実施しました

7月12日(木)、附属図書館1階のリフレッシュラウンジにて「それはかなう夢講座」が実施されました。第12回は、家政科の湯川夏子教授による「おいしさの科学」をテーマに、お話しがありました。定員30名を越える参加があり、多くの学生や教職員で賑わいました。



おにぎり2個&お茶付き!
先着30名

第13回のお知らせ

【日時】10月に開催予定です。12:10~12:40
【場所】附属図書館1階 リフレッシュラウンジ
【講師】藤浪理恵子(理学科 講師)
【テーマ】色々なところで生きることを決めた植物たち

主催:「現代的ニースを踏まえた「理系」教員養成のための
カリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

職場体験受入

7月3日(火)~7月5日(木)に附属桃山中学校から、職場体験実習の生徒を3名受け入れました。カウンターでの貸出・返却業務の他、図書装備、配架作業など、様々な図書館業務について体験してもらいました。

また、8月6日(月)~8日(水)に附属特別支援学校から、職場体験実習の受入を行う予定ですので、みなさまのご協力をお願いいたします。

イベント案内

◆企画展示室(北館1階)

博物館学概論企画展

「コレクション×コレクション vol.2」

(山内朋樹 先生)

学生による展示です。

【会期】7月28日(土)~8月3日(金)

※最終日は16:00迄

◆リフレッシュラウンジ(北館1階)

小学校教科内容論 音楽「記譜」課題
優秀作品展示会(山口博明 先生)

7月13日(金)~31日

(火)迄、優秀なもの12

作品が展示されました。



児童書コーナー(南館1階)



学生による絵本のよみきかせ

- ★8月6日(月)
14:00~14:15
『すいかくんがね..』他
- ★8月20日(月)は、
中止となりました。

学生作のチラシ →



今月の絵本カード(学生作)



『カブクワれっしゃ』
作:タツトミ カオ
出版社:佼成出版社

※児童書コーナーに展示しています。
他にも毎月かわいいカードが飾られて
いますので、ぜひ見に来てください。

<お知らせ>夏季臨時休館について

企画展等準備につき、

平成30年8月1日(水)~11月2日(金)を
休館します。ただし、8月17日(金)はオープンキャン
パスにつき開館します。【開館時間】10:00~16:00

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品(8・9月)

「学校長通達綴(終戦月の予定表)」

※休館中のため、附属図書館での展示となります。

詳しくはホームページ
の「今月の逸品」コー
ナーをご覧ください。展示
をしていますので、ぜひ
教育資料館へ来てくだ
さいね!



詳しくは...教育資料館 まなびの森ミュージアム
<http://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **武島 良成**(社会科学科 准教授)

1917年9～10月大洪水時の伏見町

武島良成

京都教育大学紀要. 2018, No.132, pp.1-17.

伏見の小学校でボランティアをしていて、屋根に置かれた舟を見た人がいるかもしれません。伏見は洪水の常襲地だったので、避難のための舟が備えられていたのですね。さて、それでは、ここ百数十年間で一番ひどかった洪水(1917年9～10月)では、町のどの辺りまで水が来ていたのでしょうか。

このことについて、先行研究をチェックしたところ、浸水は町(当時の伏見町)の北部には及ばなかったような描き方になっていました。「あれ、意外にそんな感じ?」と思いつつ、念のために当時の新聞も見てみました。すると、実際には旧市街の北端付近も浸水していたようで、関連する写真も数点載っていました。「またか!!」(ここでもまた、いい加減な「研究」がまかり通っているのか)と嘆息し、色々と史料を集めて分析したのがこの論文です。

浸水は、宇治川周辺だけでなく、今の阪神高速に沿うような形で、現在の京セラのビルの近くまで達していたようです。大手筋では、二番街の辺りまで水が来ていたようです。調べる中で、憲兵隊による救護活動(舟を出したり、土窓を破って救出したり)など、興味深い史料も得られました。前後(1916・1918年)の洪水を含めて検討を続けていけば、さらに多くのことが見えてくるはずですよ。

それにしても、人命に関わるトピックで、信用できない「研究」が量産されているのは困りものです。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 132 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>でもご覧ください。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2018年8月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8/2-8/8 前期末試験

8/9-9/30 夏季休業

8/13-8/14 夏季一斉休業

2018年9月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

9/5 館内整理日

9/15 大学院入試

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版 OPAC

(QRコード)

<http://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.215(2018年8月号)

発行日:平成30年8月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

